

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	口腔内疾患と合併症、寿命との関連の検討
研究責任者	腎臓内科 三崎太郎
研究実施体制	大阪大学小児歯科 仲野和彦、岡山大学小児歯科 仲野道代
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～2025年5月31日
対象者	2004年から2010年に当院歯科あるいは口腔外科受診した50歳以上65歳以下の患者でパントモ撮影をしており、その前後1年で採血をしている患者、その後10年から15年後に当院に再受診し採血データがあるか、享年がわかる患者を抽出する。対象人数は200人から300人と推定。
研究の意義・目的	口腔状態の悪い患者は、腎障害、心疾患、脳血管疾患、糖尿病などの合併症が多く、予後が悪いことを証明する。
研究の方法	上記対象者の項で抽出した患者のパントモ撮影写真より、う蝕(DMFT法)、歯周病の評価を行う。その前後1年以内に血圧、体重、身長、合併症などの臨床データ、採血、尿データを評価する。10年後、15年後の生存と合併症を検討し、口腔疾患と合併症、予後の関連を検討する。具体的には年齢、性別、身長、体重、BMI、合併症(心疾患、脳血管疾患、慢性腎不全、糖尿病、高血圧)、TP、Alb、Cr、eGFR、Hb、HbA1c、T.Cho、TG、LDL、UA、蛋白尿、血尿、パントモ撮影より口腔定量評価(DMFT index、歯周ポケットの深さなど)を抽出する。亡くなった患者は享年と、死因を検討する。評価項目:①う蝕、歯周病の定量的な評価は、腎機能、透析の有無や、合併症(心疾患、脳血管疾患や糖尿病など)に関連があるかどうか。②エンドポイントは死亡、心疾患発症、脳血管障害発症、糖尿病発症、蛋白尿、血尿、Cr2倍、eGFR<30ml/min、透析導入。*今回の研究は後方的研究であり新たに行う検査、治療はない。データはID化しプライバシーに配慮する。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 腎臓内科科 (氏名) 三崎太郎 TEL:053-474-2222(代表) 腎臓内科外来 9:00~17:00 平日